

指導書本冊 紙面見本 1ページ目

※指導用データDVD-ROMにPDF版を収録しています。

LESSON 1 Start-Up

Meeting People
自分のことを話す

Start-Up Andy and Kenta are talking in the classroom. They have just become friends.

Andy: What do you usually do after school, Kenta?
Kenta: Me? I'm in the soccer club, so I play soccer every day except Monday.
Really! You must be very busy! But you're free on Mondays and weekends, right?
Actually, I go to cram school every Monday. On weekends, we sometimes have soccer games.
Andy Wow! You don't have much free time.
Kenta: No, not much. When there's no game on the weekend, I like to hang out with my friends.

Forms 現在のことは現在形で表す
自分でやることで、他の人に聞くことを学ぶこと。入っている経済のよう現象の状態、日々の暮らしの中で練習することもできます。動作の表現を学ぶ。

Expressions あいづちで関心を示す
お互いに会話をすることで、相手のことばをもっていふことを学ぶことができます。Really!は、下がり調子「もうやめなさい」、Really!と並んで「もうやめなさい」というフレーズになります。音楽をしますか? See? やUnderstand? などは「それなら」、「それは」という意味になります。

Sounds /l/と/r/の発音
/l/と/r/の音は両方とも日本語では「ラリルレロ」と表記されるが、英語では、/l/は舌の先を上の歯茎につけて発音し、/r/は舌先を歯茎にはつけず舌全体を後ろに引いて発音する。

Talk 全ての内容を確認し、AndyとKentaになりきって会話をしましょう!

Start-Up

自分のことを話す

CD1-7~10

現在の状態やいつもすることは動詞の現在形で表す。肯定文でも疑問文でも、「いつ」「どこで」という情報を添えることによって話を具体的で明瞭なものにする。

あいづちを打ったり、相手のことばに対する反応を表現し、コミュニケーションを深める。

- ⇒ Andy and Kenta are talking in the classroom. They have just become friends. (アンディとケンタは教室で話しています。彼らは友だちになったところです)
- What do you usually do after school, Kenta?
「ケンタ、放課後はいつも何をしているの?」
 - I'm in the soccer club, so I play soccer every day except Monday. 「僕? サッカー部に入ってるから、月曜以外は毎日サッカーをしているよ」
 - Really! You must be very busy! 「ううん! ではなくMe? と言ふ。」
 - I'm in the soccer club. 同内容の表現には、I'm on the soccer team. / I'm a member of the soccer club[team]. / I belong to the soccer club[team]. などがある。
 - Really! You must be very busy! 「ううん! すごく忙しいんだろうね!」

- この Really! はあいづちなので、下がり調子で読む。
- この must は「…にちがいない、きっと…だ」と「確信」を表しており、後ろには be 動詞や状態動詞がくることが多い。(LESSON 7 Interactions を参照) 用いる。

- But you're free on Mondays and weekends, right? 「でも、月曜と週末は時間あるよね?」
- 文末の right? は相手に確認するための表現。以下のように、付加疑問の文でも同様の意味を表せる。

But you're free on Mondays and weekends, aren't you?

- Actually, I go to cram school every Monday.

「実は、月曜は毎週、塾に通っているんだ」

- actually は相手の発言(月曜と週末は時間がある)をやんわりと否定するためを使われている。
- go to cram school は「塾に通う」という意味で、cram school(塾)は無冠詞。この点は go to school や go to bed の school や bed と同様で、school は具体的な建物としての学校や塾ではなく、学習の場としての学校【塾】を表している(つまり、学校【塾】の役割や働きに焦点が当たっている)ため、無冠詞となる。

なお、cram は「詰め込み勉強」という意味で、cram school は日本の「塾」を指す。日本の教育事情を知らない英米人に a cram school と言っても通じない。アメリカには塾がほとんどなく、イギリスでもあまり多くないためである。

- On weekends, we sometimes have soccer games. 「週末にはときどきサッカーの試合をするんだ」
- 動詞の現在形で習慣を表す場合、しばしば sometimes (ときどき), often (しばしば), once (in) a week (週に1度)など、頻度を表す副詞(句)を伴う。なお、本文の have は「持っている」という意味の状態動詞ではなく、「(試合など)を行う」という意味の動作動詞。

- Wow! You don't have much free time. 「うわー! あまり自由な時間がないんだね」

- much は否定文で用いられると「あまり(～ない)」という意味になる。

- No, not much. 「うん、そうなんだ」

- No, (I do) not (have) much (free time). (うん、自由な時間はあまりないんだ) を短縮した表現。

- 「時間がないんだね」という否定文(あるいは否定疑問文)に同意する(実際に時間がない)場合、日本語では「うん[はい]」と言ふが、英語では同じく否定を表す No と言ふ。Yes と応えると「時間がある」という意味になる。

- A: Don't you like sashimi? (きみはお刺身が苦手なの?)

B: No, I don't. (うん、そうなんだ)

- When there's no game on the weekend, I like to hang out with my friends. 「週末に試合がないときは、友だちと遊びたいな」

- hang out with ... (…と遊ぶ、…といっしょにぶらぶらする) hang は「ぶら下がっている」が基本的な意味で、

- そこから「ぶらぶら[うろうろ]する」という意味が派生した。

Listening-TASK

CD1-8

音声スクリプト

- Kenta plays soccer on Tuesdays.
- Kenta doesn't go to cram school.
- Kenta likes to spend time with his friends when he isn't too busy.

スクリプト訳

- ケンタは毎週火曜日にサッカーをする。
- ケンタは塾に行っていない。
- ケンタは、あまり忙しくないときは友だちと過ごしたい。

解答

1. T 2. F 3. T

Forms 現在のことは現在形で表す

- 現在形を用いて、現在の状態や慣習的に行っていることを表現する。また、現在進行形を用いて、している最中のことを表現する。

- 「～を愛している」「～を知っている」「～を信じている」といった心理的な状態や、「～を持っている」「～に住んでいる」のような現在の状態を表すときは動詞の現在形を用いる。

- 現在形を用いた文は、現在の一時点で行っているではなく、ふだん繰り返し行う慣習的な行動を表すことに注目させる。例えば、I play the flute. (私はフルートを吹きます) という文は、「私」が今、フルートを吹いているという意味ではなく、フルートを吹くのが趣味だ、あるいは、吹奏楽部でフルートを担当しているなど、ふだんフルートを吹いていることを意味している点を理解させる。
- 現在進行形は、現在している最中のこと、変化しつつあること、また、一時的な状態を表すときに使う。

Expressions あいづちで関心を示す

- あいづちは、相手のことばに反応し、相手の意見に対する関心を示したり、どのように捉えているかを表現したりする、会話の重要な要素だ。

- 教科書で挙げた例のほかに、uh-huh(上がり調子で同意を表す), uh-uh(下がり調子で否定を表す), well(「おやまあ」驚き・非難、「ええと」ためらい、「やれやれ」安心、「それで?」発言を促す,など), right(「その通り、わかりました」同意・承知、上がり調子で「いいですか」確認)などがよく使われる。

- あいづちは短いことばであるがゆえに、イントネーションや口調によって意味が変わってくる。相手の話や状況をきちんと理解したうえで適切に表現する必要がある。

- Really! は下がり調子で「そうなんだ!」と相手の話に興味をもっていることを示したり、「そうだね」と同意をしたりする(言い方によっては「あ、そう」と無関心さを示すこともある)。Really?「本当に?」は上がり調子で驚きや疑惑を表す。

教科書 p.17

- A: Naoko speaks five languages. (ナオコは5か国語を話すんだ)

B: Really? (本当に?)

Sounds /l/と/r/の発音

CD1-9

- /l/と/r/の音は両方とも日本語では「ラリルレロ」と表記されるが、英語では、/l/は舌の先を上の歯茎につけて発音し、/r/は舌先を歯茎にはつけず舌全体を後ろに引いて発音する。

like や loveなどの/l/は、舌の先をしっかりと上の歯茎につけ、特に第一アクセントの場合は音のはじめを強めに発音する。usually や actuallyなど、第一アクセントではない場合は、舌の先を上の歯茎につける力をそれほど強くしなくてよい。

/r/の音は、舌先をどこにもつけないため、音はあいまいに聞こえる。日本語を話す際は、無意識に舌を動かしていることがほとんどなので/l/の音と交互に練習するなど、舌の位置をしっかりと意識させて発音練習をするとよいだろう。

Talk

会話は基本的に疑問とそれに対する応答から成り立っている。だが、形のうえでは疑問ではない発言が疑問の意味をもち、それに対して相手が応答する場合もある。要するに相手のことばをよく聞いて理解したうえで、自分なりのことばで応答することが肝心である。

会話の練習をする際には、自分がアンディあるいはケンタになったつもりで話すように指導したい。

Pick-Up

I'm in the soccer club. (僕はサッカー部に入っています)

上の文は I'm on the soccer team. と表現することもできる。club の場合は前置詞 in を使い、team の場合は on (英では in) を使う点に注意。

TT (Tongue Twister)

CD1-10

Robin and Robert live in Rockford and lead a really lively life. (ロビンとロバートはロックフォードに住んでいて、実に活気ある生活を送っている)

• r で始まる単語と、l で始まる、または s の音を含む単語が多く含まれている文。舌の先の位置がめまぐるしく変わるので、そこに注意して発音練習する。Robin, Robert, Rockford は Ro の韻を踏んでいるので、力強くリズミカルに発声するよう指導する。

指導書本冊 紙面見本 2-3ページ目

・TASKの解答例や会話例を豊富に紹介しています。

LESSON 1 Interactions

Interactions

自分自身のことや身近な人のことを話す CD1-11~19

- 自分や身近な人について、現在の状態やいつもすることを表現する。
- 自分や身近な人がしている最中のこと、これからようとしていることを表現する。

例文

- ①私は猫を飼っていてその猫のことが大好きです。
- ②私はふだん8時30分に学校に着きます。
- ③私の母は高校で生物を教えています。
- ④私は英語の授業のために作文を書いています。
- ⑤私の猫は太ってきていると思います。
- ⑥私の祖母が明日私たちを訪ねてきます。
- ⑦私の兄は今月大学を卒業します。

A 現在のことを表す (現在形)

①一般的な状態、心理的な状態を表す動詞

live(住んでいる)やhave(持っている)などの状態動詞も現在形で使うと、現在を中心として一定期間継続する状態を表す。状態動詞は一般に進行形にはしないが、一時的な状態や変化しつつある状況を表すときは、例のように状態動詞を進行形として使うことがある。resembleは現在形でも「似ています」という和訳になるが、(be動詞+resembling)はあくまでも「～(人・生物)に似てきている、～(人・生物)似になってきている」という意味を表す

ときだけ進行形を用い、ふつうに「～に似ています」というときはresembleと現在形を用いることをしっかり理解させたい。

■ My daughter is living in an apartment now. (娘は今、アパートに住んでいます) → アパート住まいは一時の

■ Linda's resembling her mother more and more. (リンダはますます母親似になってきている)(コンバースローズ) → 「似てきている」という進行中の変化を表している

loveは1回の動作ではなく、何かが大好きだという現在の心の中の状態が一定期間続いていることを表す状態動詞。心理的な状態を表す動詞にはloveのほかに、like(好きである), hate(嫌っている), know(知っている), think(思っている), believe(信じている), want(欲している), hope(望んでいる), understand(理解している), forget(忘れている), remember(覚えている)などがある。

②慣習的な動作を表す動詞

繰り返すことや習慣となっていることは動詞の現在形で表し、頻度を表す副詞を伴うことが多い。頻度の高い順に、次のような副詞がある。always(いつも)→ usually / normally / generally(ふだん)→ often / frequently / regularly(たびたび)→ sometimes(ときどき)→ rarely / seldom(めったに～ない)→ never(決して～ない)

③職業や習性、話す言語などを表す

「(職業として)～している」や「(言語)を話す」も「ふだんしていること」なので、動詞の現在形で表す。職業をたずねる場合には、最後にfor a living(生計を立てるために)という語句を加えると「職業」について聞いていることが相手にはっきり伝わる。

■ What does she do for a living? (彼女の職業は何ですか) → 直訳すると「彼女は生計を立てるために何をしますか?」

■ People in Canada speak English and French. (カナダの人々は英語やフランス語を話します)

CHECK

解答

1. My father (likes) cars and (works) for a car company. (父は車が好きで、自動車会社で働いています)

2. He (has) a car, but he rarely (drives) it. (彼は車を持っていますが、めったに運転しません)

3. He usually (leaves) home at seven and (comes) home before dinner. (彼はふだん家を7時に出て、夕飯前に帰宅します)

4. He always (thinks) of us and (takes) care of us. (彼はいつも私たちのことを考え、面倒を見てくれます)

TASK 1

解答例1

Eri knows a lot about animals. She tells me a lot of interesting stories about them. (エリは動物についてよく知っています。彼女は私に動物についていろいろなおもしろい話をしてくれます)

解答例2

I live in the suburbs of Tokyo. I often take a walk in the natural park near my house. (私は東京の郊外に住んでいます。よく家の近くの自然公園を散歩します)

POINT believe(信じている), know(知っている), live(住んでいる)が状態動詞で、現在形で表された現在の状態を訳すと「～している」となる。

TASK 2

教科書掲載解答例

A: あなたのお父さんって仕事は何をしているの?

B: 自動車を設計しているんだ。

A: わーすごい! どんな自動車を設計しているの?

B: …を設計しているよ。

会話例1

A: How does Eri know so much about animals? (エリはどうしてそんなに動物について詳しいの?)

B: She's reading books about animals all the time. (彼女はいつも動物についての本をよんでいるか

教科書 pp.18-19

らね)

A: Is that true? Is she going to be a vet? (本当? 彼女は獣医になるつもりなの?)

B: No, she wants to be a zoologist. (いや、動物学者になりたがってる)

会話例2

A: When do you usually go for a walk? (ふだんはいつ散歩にいくの?)

B: Right after I wake up in the morning (朝起きてすぐよ)

A: You're kidding! I don't have time for that because I'm rushing around every morning. (嘘だろ! 僕は毎朝バタバタして、そんな時間ないよ)

B: It feels great walking in the morning and makes me more energetic. (朝歩くのは気持ちがよくて、元気がでるわ)

POINT 活動を始める前に、どのようなFollow-up questionsが考えられるか共有してからはじめると、会話がスムーズに始められ、会話も展開しやすくなる。

E-GUIDE

あいづちには、相手への同意(I think so, too. / Yes, indeed.), 否定(No way!), 同情(That's too bad.), 疑問・確認(Is that true? / Are you serious?)などがいる。

*I see. (なるほど) *I understand. (わかります)

*I think so, too. (私もそう思います)

*I can't believe it! (信じられない!)

*Really? (本当に?)

*No way! (とんでもない!)

*Yes, indeed. (まったくそのとおりです)

*That's nice [good / great / wonderful / fantastic]. (それはすてきだね[いいね／すごいね／すばらしいね／見事だね])

*That's too bad. (それは残念[お気の毒に])

*Is that true? (それって本当に?)

*You're kidding! (まさか!)

*Are you serious? (本当に? [本気なの?])

CD1-16

◆音声スクリプト

1. My sister works at a fashionable boutique downtown. (姉は街なかのおしゃれなブティックで働いています)

A: That's wonderful. (すてきです)

B: Where do you work? (あなたはどこで働いていますか?)

C: I suppose so. (そう思いますよ)

2. I was late for the meeting because the train was delayed. (電車が遅れたから会議に遅刻しました)

A: Yes, I did too. (はい、私もです)

B: That's too bad. (それはお気の毒に)

指導書本冊 紙面見本 4ページ目

pp.18-19のワークシートを使った授業の提案をしています。

LESSON 1 Active Learning

Introducing Yourself

自己紹介しよう

Name: I'm _____
Your junior high school: I graduated from _____
Your favorite things / character: _____
Your goals in high school: I hope to _____

Self-Check (F)

Logical Thinking

いつもの行動: 朝の行動: いつも朝の行動を述べて文を読んで、[] から語句を選び、空所を埋めよう。
I usually [] up at 7:00 in the morning. After I wash my face and get dressed, I always [] a traditional Japanese breakfast with my family. [] home at 8:00 and get to school by 8:30.
いつもの行動の理由: morning routine: 朝の行動: 朝の行動を書いてみよう。Logical Thinkingを手順で書いてみよう。

Active Learning

自己紹介しよう

□ 「動詞の現在形を用いて、みんなの前で自己紹介をする。趣味や性格などを紹介することによって自分をみんなに知ってもらうことが目的である。

□ 40語程度で、日常の決まった行動を書く。

SHARE 自己紹介しよう

出会って間もないクラスメートに自分を少しでも知つてもらおう気持ちで自己紹介をすることが大切である。

①

教科書掲載文例

私は本田健太です。東中学校出身です。サッカーが大好きです。サッカー部に所属していて、毎日練習しています。性格は社交的だと思います。この学校でたくさんの友だちができるればいいと思います。

語句

graduate(卒業する)「～(学校)を卒業する」は graduate from で表す。

outgoing(団社交的な)

指導上のポイント

まず最初にキーワードは何か、聞き手に伝えたいことは何かを考えながら読ませてみよう。そして、Honda Kenta, Higashi Junior High School, soccer, outgoing, make a lot of friends などがキーワードに

教科書 p.20

なることを理解させたうえで、それらの語句を強調しながら音読させる。こうしてキーワードを意識しながら抑揚をつけることで、聞き手にとって印象に残る自己紹介になる。

②

指導上のポイント

原稿作成の際にポイントとなる情報をメモすることで、アイデアの整理ができる。発表の際も、スピーチの全体像を自分の頭の中に定着させたうえでメモを見ながら発表すると、より自然な発表になる。

メモ記入例

Name (名前)	I'm <u>Koga Sachiyo</u> .
Your junior high school (出身中学)	I graduated from <u>Minami Junior High School</u> .
Your favorite things / character (好きなこと / 人物)	I like Japanese pop music very much.
Your goals in high school (高校での目標)	I hope to be a singer song writer.

③

指導上のポイント

一連の流れにそってスムーズにスピーチを展開できるようにすることが目標のひとつ。また、聞き手も必ず質問することにすれば、質問するためにより集中して自己紹介を聞くことになる。質疑応答に際しては、Thank you for your impressive introduction. のように発表者を讃えたり、Actually, I like soccer, too. のように共感を示すことばを添えたりして、キャッチボールをする interaction の姿勢を養うことも大切。また、アイコンタクトや表情、身振りなども(聞き手にとって)重要なコミュニケーション手段であることに注意を促したい。

発表例

Hello, everyone! I'm Koga Sachiyo. I graduated from Minami Junior High School. I like Japanese pop music very much and I sometimes write songs in my free time. I hope to be a singer song writer in the future. Thank you for listening. Do you have any questions? (こんにちは、みなさん！私は古賀幸代です。南中学校出身です。私は日本のポップミュージックが大好きで、ときどき自由時間に曲を書くこともあります。将来はシンガーソングライターになればと思っています。聞いてくれてありがとうございます。何か質問はありますか？)

質疑応答例

Student 1: Do you play any musical instruments?
(何か楽器を演奏しますか？)

Koga: Yes. I play the guitar and piano.
(はい。私はギターとピアノを弾きます)

Student 1: Wow, that's great!
(わあ、それはすごいですね！)

SHARE で使える表現

- I'm crazy about [I'm into] (～に夢中だ)
- I'm a member of the ... club. (～部に入っている)
- I'm mild (温厚な) / frank (率直な) / curious (好奇心旺盛な) / humble (控えめな) / patient (我慢強い)
- get along with (～と仲よくやっていく)
- make friends with (～と友だちに [親しく] なる)

WRITE いつもの行動を書こう

動詞の現在形を使い、時間の流れにそって日常の決まった行動を書く。自己紹介の発展形としての活動である。

①

解答

I usually (get) up at 7:00 in the morning. After I wash my face and get dressed, I always (have) a traditional Japanese breakfast with my family. I (leave) home at 8:00 and get to school by 8:30. (私はふつう朝7時に起床します。顔を洗って服を着替えた後、いつも家族と一緒に和食の朝ご飯を食べます。8時に家を出て、8時30分までは学校に着きます)

語句

get dressed (服を着る、着替える) dressed は動詞 dress (~に服を着せる) の過去分詞が形容詞化したもので「服を着せられた」→「服を着た」という意味。

get to ... (…に到着する)

by ... (…までに) 後ろに時を表す語句を伴って「期限」を表す前置詞。同じ「…まで」と訳される前置詞でも「継続」を表す until とは意味が異なる点にも注意。

解説

- 1つ目の()は直後に up があることから、getを入れて get up (起きる) とすれば意味が通る。
- 直後の a traditional Japanese breakfast が目的語なので、2つ目の()は have (~を食べる) が適切。
- 朝の行動であり、また、文の後半が「学校に着く」であることから、3つ目の()は leave home (家を出る)。

②

指導上のポイント

帰宅後の行動も毎朝の行動を書く場合と要領は同じなので、①の英文を参考にする。帰宅後も次々と異なる行動をするので、and (そして) や then (それから) などの接続詞を使うと行動の順序がわかりやすくなる。

まず、朝ないし帰宅後の行動を時間の流れにそって英語の語句で列挙させ、それに内付けして文にし、さらに適宜接続詞などを使って文章として自然な流れになるように整えさせたい。ポイントは、動詞はすべて現在形を用いることである。通常することは usually (ふつうは)、いつもすることは always (いつも) を使って表現する。ほかにも、状況に応じて often (よく)、sometimes (ときどき)、never (決し

て～ない)などの頻度を表す語も使えるように指導したい。決まった時刻に行なうことは、at seven のように具体的に表現し、after (～のあと) や before (～の前に) など、時間の前後関係を明確に示すことばを使うことも有効である。

WRITE ワークシート

まず、毎朝の行動や帰宅後の行動を、時間の流れにそって書き出してみよう。

get home → wash my hands → do my homework → have dinner → take a bath → watch TV → go to bed

作文例

帰宅後の行動 (evening routine)

I usually get home at six. After I wash my hands, I do my homework in my room. I have dinner with my family at seven and take a bath at eight. And then I watch TV before I go to bed at eleven. (44 words) (私はたいてい6時に帰宅します。手を洗つてから自分の部屋で宿題をします。7時に家族と夕食をとり、8時にお風呂に入ります。それからテレビを見て、11時に寝ます)

解説

作文例では、時刻を表す at (～時に)、頻度を表す usually (たいてい)、行動の前後を表す after (～が…してから) や before (～が…する前に)、そして順序を表す and then (それから) などの語句を適切に用いて、毎日の帰宅後の行動を時間の流れにそってわかりやすく説明している。動詞はすべて現在形を用いる。

WRITE で使える表現

- get home (帰宅する) · take a bath (風呂に入る)
- go to bed (寝る) · leave for (～に向かって出発する)

Logical Thinking

いつもの行動を伝えるには、時間の流れにそって話したり書いたりするのが常道。ただしそれは、必ずしも「何時何分」と明確な時刻を記すということではなく、順を追って行動を並べていくということ。その際、それぞれの行動を1文で表し、それを羅列するのではなく、and, after, before など、時間的な前後関係を表す接続詞を効果的に使うよう伝えたい。また、これらの接続詞を使った場合、同じ語句の繰り返しを避けることもできる。例えば and の場合は後半の主語などを省略でき、作文例の中でも I have dinner with my family at seven and (I) take a bath at eight. と使っている。after や before には前置詞の用法もあるので、After washing my hands のような形を使えば、より洗練された文になる。